

学長メッセージ(経済的支援等について)

愛知医科大学学生のみなさんへ

今般、愛知県に発令されていた「緊急事態宣言」の解除を受けて、本学においても「活動基準」の見直しを行い、教育活動（講義・演習・実習）を段階的に再開していく予定です。現時点において授業再開の具体的な日程などについては未定ですが、決定次第、医学部長又は看護学部長から連絡がありますので、漏れのないよう対応してください。

学生のみなさんには、この2ヶ月余り、不慣れな遠隔授業に真剣に取り組んでいただき、ご不便をかけております。特に新入生のみなさんにとっては、かろうじて行われた入学式とガイダンスのみの中で始まった遠隔授業には、計り知れない不安や戸惑いがあったことと思います。

本学では、遠隔授業にかかるパソコン・周辺機器の購入、インターネット環境などの整備や消耗品などの経費について、「遠隔授業環境整備支援金」として、学部学生全員に一人当たり50,000円を支援することといたします。

また、学納金については、学資負担者の収入が激減するなど、家計が急変した学生を対象に、令和2年度後学期分授業料を一部減免することも検討しています。これらの詳細については、後日改めてお知らせいたします。

授業の再開にあたり、すべての教職員が全力でみなさんのサポートにあたりますので、少しでも不安や不明なことがある場合は、指導教員（アドバイザー）又は学部事務室まで申し出てください。

なお、授業の再開が決定した場合でも、ウイルスの脅威がなくなった訳ではありません。今後、改めて「緊急事態宣言」が発令され、再び遠隔授業を行う可能性も考えられます。学内での授業を行うにあたっては、可能な限り感染対策を施した上での教育を実施いたしますので、学生のみなさんも個々の感染防御策を徹底した上で、学修に励んでいただくようお願いいたします。

2020年5月19日

愛知医科大学

学長 祖父江 元